

女性の活躍と人材育成

人手不足解消に貢献

にかほ市で有限会社カーショップを経営する大原知子さん(47)は、1級整備士として車検業務を担うほか、代表取締役社長として社員の育成に力を入れています。「自動車整備士の業界は人手不足だといわれていますが、女性の活躍次第でこの課題を解消できていると思っています」と話します。

大原さんは高校卒業後、埼玉県の専門



大原社長(前列右)と従業員

学校に通って2級整備士を取得。古里に戻り、父が経営する自動車販売店を手伝いながら、2010年に1級の資格を取りました。女性が県内で1級を取得したのは初めてでした。

「当時は就職氷河期だったので手に職を付けたくて2級を取りました。周囲の勧めで1級を取得したのは、女性は男性のように力仕事をこなすことが難しいと分かったからです」と当時を振り返ります。

1級整備士は、より高度な知識と技術に加え、整備業務全体を管理したり、人材を育成したりする力も求められます。大



国道7号沿いの有限会社カーショップ

原さんは「周囲に認めてもらいたいという気持ちもあったし、女性が整備士として長く働き続けるには、より広い視野と知識を持つことが必要だと思いました」と語ります。県自動車整備振興会の講習に通い、日常業務と育児が一段落した夜間に勉強に励んだといいます。

電気自動車やハイブリッド車が普及するようになってからは、パソコンなどの専用機器を使って故障診断を行う場面が増えているといい「体力の面で男性にはかなわない女性整備士でも、活躍できる場面は確実に増えています」と強調します。

父の後を継いで社長に就任したのは2012年。現在は8人の従業員と共に会社を切り盛りしており、大原さんと店長を含む4人が女性です。整備士の資格を持



検査業務にあたる大原知子さん

たない女性従業員たちも同振興会の講習などを積極的に活用。自動車に関する専門知識を学び、顧客に対して整備・点検箇所の詳しい説明を行っています。「女性スタッフが接客業務を支えることで、整備士は工場内での業務に専念できます。役割分担することで人手不足を解消していきたい」と大原さん。今後も従業員が働きやすい環境づくりを進めていくつもりです。

研さんの場を提供

自動車整備士の育成を図るため、県自動車整備振興会は、さまざまな講習会を開き、県内の自動車工場などで働く人たちに研さんの場を提供しています。

整備士の資格取得を目指す人たち向けに開催しているのが「自動車整備技術講習」です。資格ごとに技術指導が行われ、受講者は国家試験の実技が免除されます。講習は一定期間に集中して開催されるため、働きながら資格取得を目指す人の負担を減らすことができます。2021年度は1～3級の7種目を計224人が受講しました。

入社1年目と3年目の整備担当者向けに教養講習も開いているほか、全日本自動車整備技能競技大会の県大会を2年に1度実施しています。

この大会は自動車ディーラーを除く整備工場の整備士が技術力を競う場。2017年は本県代表の大曲仙北チームが準優勝しました。今年は11月に東京ビッグサイトで第23回大会が行われる予定で、本県からは湯沢雄勝チームが出場します。同振興会はこれらの取り組みを通じて、県内の整備士の技術力の底上げに取り組んでいます。

自動車整備士の種類

1 級	2 級
大型自動車整備士 小型自動車整備士 二輪自動車整備士	ガソリン自動車整備士 ディーゼル自動車整備士 自動車シャシ整備士 二輪自動車整備士
3 級	特殊
自動車シャシ整備士 自動車ガソリン・エンジン整備士 自動車ディーゼル・エンジン整備士 二輪自動車整備士	自動車タイヤ整備士 自動車電気装置整備士 自動車車体整備士

自動車整備士になるには

